

はじめに

(支援者のみなさまへ)

「たんけんたいシリーズ」は、ひらがなの習得段階にあるお子さん、読み書きに困難を抱えるお子さん、そして外国にルーツのあるお子さんなど、多様な背景を持つ子どもたちが共に学べるインクルーシブな教育環境を支えるための初期指導教材として誕生しました。2024年5月に『ことばたんけんたい vol.1 ことばをみつけましょう [文字とことば：ひらがな編]』および『ことばたんけんたい vol.2 ことばをみつけましょう [文字とことば：カタカナ編]』を刊行して以来、教育現場やご家庭で広くご活用いただき、心より感謝申し上げます。

続編となる今回の『くらふとたんけんたい かたちをみつけましょう』は、前作をご利用いただいた支援者のみなさまから寄せられた「ひらがな練習の前段階として、筆記具などの使い方を身につける教材がほしい」という声を受けて制作しました。鉛筆・クレヨン・ペンなど、多様な筆記具に親しみをもち、書くことへの意欲を育てるワークをはじめ、消しゴムの使い方やはさみを使った巧緻性の向上、さらに算数につながる図形の認識まで、学習の基礎を支える多彩なタスクを収録しています。

本教材は、就学前日本語指導の「プレスクール」などで活用いただくことを主に想定していますが、就学後、『ことばたんけんたい vol.1』『ことばたんけんたい vol.2』に取り組む前段階として使っていただくのもよいかと思えます。

特に形を扱う問題については、私家版で数年間実践を重ねてきた内容を出版にあたり深化させました。なぞり書きや絵の補完、そして、三次元的な視点を養う「三方向からの視点」など、認知機能を刺激するタスクを充実させています。また、図形学習の基礎となる「タングラム」(三角形を中心としたパズル)のタスクでは、図形の認知だけでなく、正解を急がずに試行錯誤する過程も学習目標としています。

支援者のみなさまには、お子さんの興味に寄り添い、一緒にワクワクしつつ答えを見つけていただけたら幸いです。

本教材の学習項目の解説は、シリーズ前作に引き続き、年少者日本語教育が専門の松本恭子氏に日本語教育の視点から、公認心理師の米田奈緒子氏には児童発達支援・特別支援教育の専門的知見から、執筆していただきました。また、温かみのあるイラストは、杉浦恵子氏によるものです。

本教材は、令和4年度科学研究費 基盤研究 (C) (研究代表川崎直子) の助成を受けて作成しました。

「たんけんたいシリーズ」 サポートサイト

<https://publishing.bonjinsha.co.jp/support/tankentai>



2026年4月

川崎直子

本教材は、ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みましがえにくいデザインの文字を採用しています。

On the basis of the policy of universal design (UD), easy to understand and easy to read character designs are used.



もくじ

はじめに（支援者のみなさまへ） i

『くらふとたんけんたい』学習項目表（日本語教育と特別支援教育の視点） iv

【1】	もちましよう	no.01~no.07	p. 1
【2】	けしましよう	no.08~no.11	p. 9
【3】	なぞりましよう①	no.12~no.28	p. 13
【4】	なぞりましよう②	no.29~no.31	p. 30
【5】	ぬりましよう	no.32~no.37	p. 33
【6】	えを かきましよう	no.38~no.39	p. 39
【7】	おりましよう	no.40~no.41	p. 41
【8】	きりましよう	no.42~no.43	p. 49
【9】	ぬって きって はりましよう	no.44~no.49	p. 57
【10】	かたちを みつけましよう	no.50~no.58	p. 66
【11】	○△□は なんこ ありますか	no.59~no.63	p. 75
【12】	これは なんですか	no.64~no.68	p. 80
【13】	おなじ えを みつけましよう	no.69~no.71	p. 85
【14】	かくれている ものを みつけましよう	no.72~no.76	p. 88
【15】	たんぐらむで あそびましよう	no.77~no.83	p. 93

[著者プロフィール]

川崎 直子 (かわさき・なおこ)

愛知産業大学短期大学国際コミュニケーション学科 教授

一般社団法人かにえ子ども日本語の会 代表理事、一般社団法人ViVarsity 監事、支援教育専門士

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校修了、南山大学大学院博士後期課程修了・博士(言語科学)

研究分野は第二言語習得、年少者日本語教育、地域日本語教育、特別支援教育

アメリカ留学中に、日本にルーツを持つ幼稚園児から高校生まで通う週末日本語学校で継承語日本語教育に出逢う。2004年から愛知県西部地区の小中学校で外国にルーツを持つ子どもの日本語支援、保育所・幼稚園でのプレスクールを実施している。

2018年度、2022年度、2026年度の科学研究費基盤研究(C)の助成で、発達に困難を抱える外国にルーツを持つ子どものための特別支援教育の視点を持つ日本語支援教材開発や支援者間ネットワークの構築、アセスメント等を研究している。

[著書]

- 『たんけんたいシリーズ① ことばたんけんたい vol.1 ことばをみつけましょう [文字とことば:ひらがな編]』凡人社, 2024年
- 『たんけんたいシリーズ② ことばたんけんたい vol.2 ことばをみつけましょう [文字とことば:カタカナ編]』凡人社, 2024年
- 『日本語教育への道しるべ』(シリーズ監修/第1巻~第3巻共著) 凡人社, 2017年
- 「外国につながる『困り感』のある子どもの指導に関して」『ことばと文字』くろしお出版, 2017年
- プレスクール教材『ひらがなたんけんたい』『くらふとたんけんたい』『かいものたんけんたい』『がっこうたんけんたい』(教育GP助成), 『オリジナル版 ことばたんけんたい』(科研費助成)

協力 松本 恭子 (元 愛知産業大学短期大学 非常勤講師)

米田奈緒子 (一般社団法人家庭教育研究センター FACE 代表理事)

印南 春香 (一般社団法人家庭教育研究センター FACE 理事)

イラスト 杉浦 恵子

表紙デザイン 山田明日香 (コミュニケーションアーツ株式会社)

本教材は、令和4年度科学研究費基盤研究(C)(研究代表川崎直子)の助成を受けています。

たんけんたいシリーズ③

くらふとたんけんたい

かたちをみつけましょう

2026年4月30日 初版第1刷発行

著者 川崎直子

発行 株式会社 凡人社

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-13

電話 03-3263-3959

印刷・製本 倉敷印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります。乱丁本・落丁本はお取り換えいたします。

*本書の一部あるいは全部について、著者から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で、転載・複写・複製することは法律で固く禁じられています。

ISBN 978-4-86746-077-1

©KAWASAKI Naoko 2026 Printed in Japan

凡人社の書籍のご案内

Tankentai series
たんけんたい
シリーズ

川崎 直子 著
KAWASAKI Naoko

ことば たんけんたい

vol. 1 / vol. 2

ことばをみつけましょう

外国にルーツを持つ子どもと
読むこと・書くことが
苦手な子どものために



vol. 1

文字とことば：ひらがな 編

ISBN 978-4-86746-025-2 B5判 120頁 1,200円+税

vol. 2

文字とことば：カタカナ 編

ISBN 978-4-86746-026-9 B5判 112頁 1,200円+税

子どもたちに寄り添う支援をするために、日本語教育と特別支援教育の双方の視点を取り入れて、眼球運動やソーシャルスキルトレーニングなどを組み合わせて開発された教材です。学習・支援の場で、子どもたちが楽しい時間を過ごせるように、ゲームやクイズなどの要素も取り入れられています。

巻頭には、日本語教育と特別支援教育の専門家による学習項目の解説と支援のヒントを掲載。

[教材サポートページ]

